

経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県綾川町 綾川町国民健康保険陶病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	透訓	臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
24,586	6,157	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

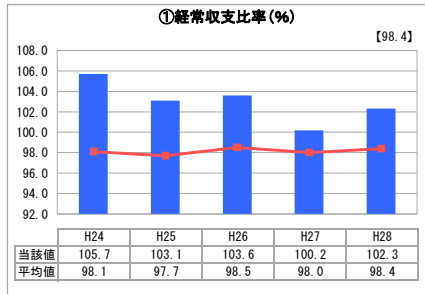
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
35	28	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	63
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
35	28	63

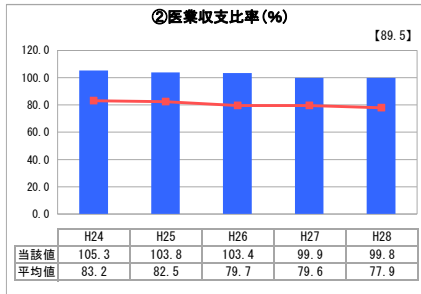
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

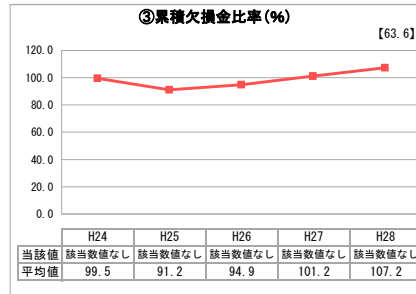
1. 経営の健全性・効率性



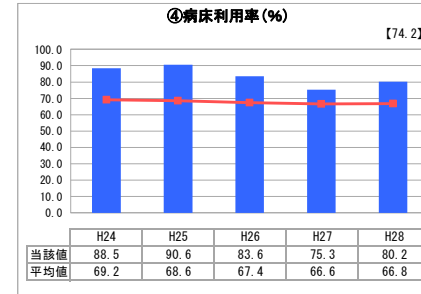
「経常損益」



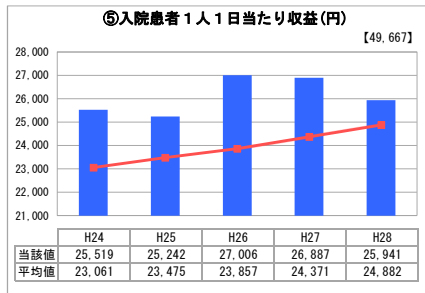
「医療損益」



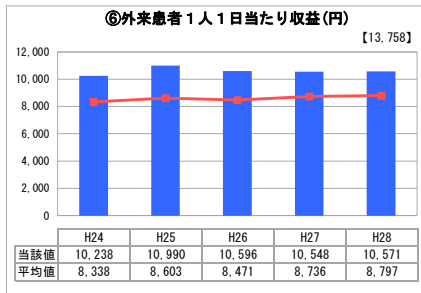
「累積欠損」



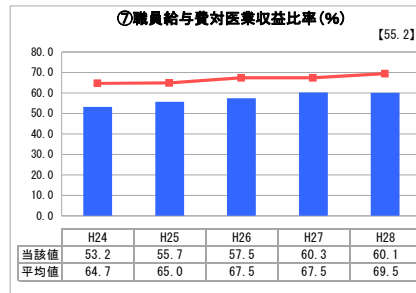
「施設の効率性」



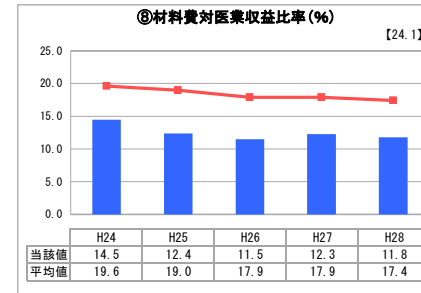
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

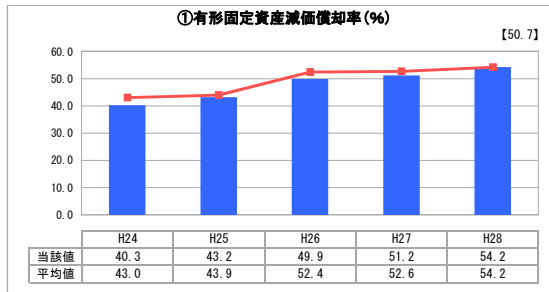


「費用の効率性①」

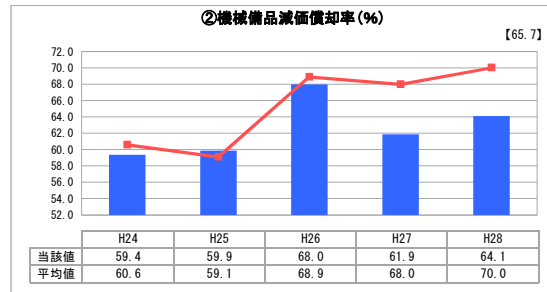


「費用の効率性②」

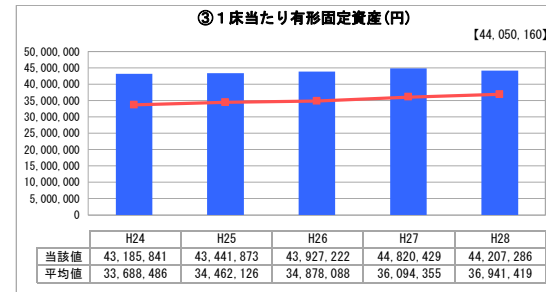
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

急性期から在宅医療、介護まで、患者の状況に応じた療養環境で適切な医療が受けられるように、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携強化を図りながら、多職種・多機関による「顔の見えるネットワークづくり」に努め、地域連携拠点病院として「安心・安全のまちづくり」に貢献している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成16年改築後経常損失を出すことなく、経常収支比率は100%を越え、黒字運営ができています。外来患者数、病床利用率は若干下降傾向にあるので、サービスの向上に努めたい。また、職員給与と費対医療収益比率が上昇傾向にあり、適切な人事管理に努めたい。

附帯事業の訪問看護、通所リハ、病児保育、老人訪問看護支援センター事業は年々利用者が増え、今後も病院と一体となった在宅サービス提供にも力を入れ、地域のニーズに合ったサービス提供に努めたい。

2. 老朽化の状況について

平成16年に改築され14年が経過し、減価償却率が54.2%で類似病院比較ではほぼ同率程度である。施設は問題なく稼働しているが、徐々に機器類の更新が必要となってきているとは考えているが、機器備品については計画的に適切な更新を行っている。また、1床当りの有形固定資産については63床と病床数が少ないことより類似病院（50床～100床）と比較すると高めに出来ていると考えられる。

全体総括

現在のところ経常収支比率は100%を越え、黒字運営ができていますが、近隣病院の整備など患者数の減少要因も予想され、鋭意経営努力が必要である。また、平成29年3月に策定した「綾川町国民健康保険陶病院新改革プラン」に沿い、香川県における地域医療構想調整会議において個々の医療機関の機能分化・連携を促進するための協議を踏まえ今後の病院経営を随時見直ししていく必要がある。今後も公立病院の役割を担い、高齢化が進む社会の中で住民の求める医療を適切に提供していく体制を整え、健康で安心して暮らせる町づくりに貢献していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。